

# ふらっとホーム2014 in 西区

～市民と市長の2時間談議～



## 開催概要

開催日 平成26年11月12日(水)  
時間 18時30分～20時30分  
会場 札幌市生涯学習センター2階  
中研修室1(宮の沢1-1)  
参加者 対話者7人、上田市長、広川区長

市民と市長が、市政やまちづくりについて気軽に意見を交わす「ふらっとホーム」を昨年11月に開催しました。今回は、当日の意見交換の一部を紹介します。皆さんも、札幌市や西区のこれからについて一緒に考えてみませんか。

■記事に関する問い合わせ  
西区総務企画課広聴係 TEL 641-6925

■「ふらっとホーム」に関する問い合わせ  
市民の声を聞く課 TEL 211-2045

## 子どもの教育



こぼやし  
小林さん

児童相談所の職員の方は、日々、朝から晩まで相談業務を行っていて、本当に人手不足だと感じます。職員の数をもう少し増やすと、救われる保護者やお子さんが増えるのではないかと思います。



さとう  
佐藤さん

いじめを受けていて、学校や家庭で相談できない子どもたちは、どこに助けを求めればいいのでしょうか。子どもアシストセンターなどの相談機関がありますが、みんなが知っているか疑問です。子どもたちに、そうした相談先があることをもっと知ってもらいたいです。



くまき  
熊木さん

昨年公布された改正学校図書館法では、努力義務ですが、正規職員の学校司書を配置するように努めなければならないとなっています。また、札幌市では、札幌らしい特色ある学校教育の一つに読書を挙げています。だからこそ、学校司書をきちんと配置すべきだと思います。

## 上田市長から

児童相談所の職員が本当に大変な思いをしているのは認識していますが、職員数を増やすことはなかなか難しいのが現実です。改善するためには、子どもに対する予算を拡大しなければならず、皆さんにもそうした要望を言い続けてもらうことが大切だと考えています。

子どもアシストセンターには、子どもたちから直接話を聞く相談員がいるなど、相談に乗るための環境が整っています。こういう情報がしっかり伝わるようにしなければならぬと考えています。また、いじめの問題を自分自身で抱え込んで苦しんでいる子どもたちに、周囲の人たちが直接相談に乗ってあげられるような社会になるのが一番理想だと思います。

学校に司書の資格を持った職員が適正に配置されることで、子どもたちの学習状況が飛躍的に改善していくことは間違いないだろうと思います。それを皆さんに理解してもらるように、努力していこうと考えているところです。



うえだ  
上田市長